



Parrot

Rabbitで書き起こし字幕

北市真

Rabbit



- プレゼンツール
- Ruby製

Rabbit



- 亀が時間
- 兎がスライドの進行

Rabbit



- Matzも使ってる！

Parrot



- 書き起こし

Parrot



- 翻訳もできる

インストール



Parrotのインストール

```
% gem install rabbit-parrot
```

インストール



字幕表示用テーマのインストール

```
% gem install rabbit-theme-parrot-comment
```


実行



- RabbitとParrotを起動
- 順番はどちらが先でもいい

実行



Rabbitの実行

```
% rabbit --comment-theme=rabbit-theme-parrot-comment path/to/slide.md
```

- `--comment-theme`オプションで`rabbit-theme-parrot-comment`を指定するのがポイント

実行



Parrotの実行

```
% parrot --log-level=INFO --language=ja
```

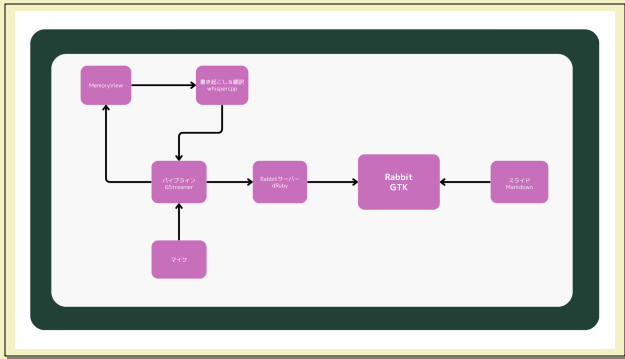
- 初回は機械学習モデルをダウンロード
- INFO -- Parrot: Started hearing
と出たら準備OK

実行



- スライドを進めながら話す
- マイクで音を拾って字幕に！

アーキテクチャー



Parrotアーキテクチャー

Rabbit



- GTKのRubyバインディングを使用
- dRubyで別プロセスのRubyから操作可能

スライド



- Markdownなどで作成

マイク



- マイク

GStreamer



- マルチメディアのパイプライン構築
- Rubyバインディングがある
- 独自のノードを作れる
 - Rubyでも！

MemoryView



- 多次元配列をゼロコピーで受け渡し
- GStreamerに最近実装した

whispercpp



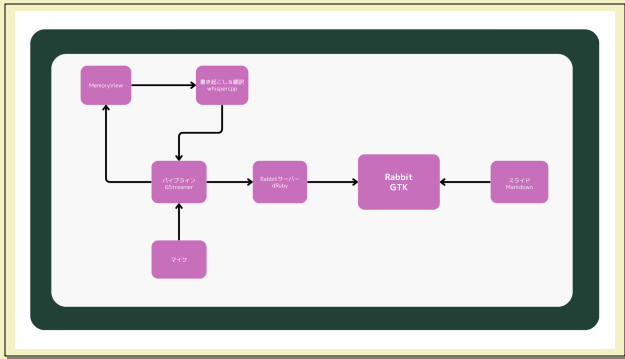
- Whisper.cppのRubyバインディング
- 書き起こし
- 翻訳
- MemoryViewでも受け取れる

dRuby



- Ruby用のプロセス間通信
- 普通にRubyコードを書くとリモートのオブジェクトが動く
- Rabbitのコメント表示メソッドを呼んでいる

アーキテクチャー (再)



Parrotアーキテクチャー

おしまい



使ってみてください。